

生きいき憲法

日野原重明さん(聖路加国際病院理事長)の命名揮毫によるものです。

東京の九条の会をつなぐ

九条の会
東京連絡会



イマジネーションの力を より豊かに

伊藤 真

国民投票法が2010年5月18日に施行されました。改憲の動きはいつ具体化するかわかりません。そのときには、「9条にこう書いてある」という主張だけでは十分でなくなるでしょう。必要なのは、ある改正案が主張されたときに、それがどういう価値を実現しようとするものかを、一人ひとりが自分の価値観で判断することです。そのときに一番大事なのは、イマジネーションを働かせることです。

ところが、これがまたむずかしいのです。10年以上も前に、米軍のパラシュート降下訓練への反対運動が読谷村で行なわれていて、その新聞記事を読みました。

「兵士が飛行機から降りる訓練ぐらいは仕方がないかな」とも思いました。ところが実際の訓練は、飛行機から軍用トラック、ドラム缶、トレーラーなどにバラシユートをつけて落とすものでした。風に流されて民家に落ちたり、子供の上に落ちたりもします。そういう事故が起きたから止めてくれ、という運動だつたのです。戦地では物資の補給が必要になります。戦地が砂漠やジャングルならばること、戦地が砂漠やジャングルならばること、戦地が砂漠やジャングルならばること、補給にはトラックやトレーラーが必要になることまで想像する必要があつたのです。まことに、9条が軍隊をもたないとしたのは、国際紛争を武力で解決しようとしても、暴力の連鎖で多くの人が犠牲になり真の解決にならないからです。むしろ、戦争の原因となる飢餓、貧困、人権侵害、差別、環境破壊などをなくすために、日本が国際社会で積極的な役割を果たして各國から信頼され、攻められない国を創りあげることによって、日本の安全と平和を達成することこそが憲法の理想なのであります（積極的非暴力平和主義）。

「飢餓」「貧困」「人権侵害」「差別」「環境破壊」という言葉の意味がわかるだけでは十分なイマジネーションをもつことはできません。憲法改正が具体化してきた現実に対応するためには、私たち一人ひとりが、イマジネーションの力をよりいつそう豊かにしていくことが求めています。

(伊藤塾塾長・弁護士)

大歓迎！都内各地からのご参加お待ちしています あと1ヶ月！東京・9条まつり 楽しくて、意義深い まつりです

東京・9条まつり副実行委員長、大田九条の会世話人
村中 哲也

11月13日(土)
大田区
産業プラザ



【写真】6月15日に行った大田九条の会結成5周年記念事業の
「中村哲講演会」の会場風景・会場は「大田区民ホールアリコ」

11月13日に開催される「東京・9条まつり」が近づいています。会場が大田区産業プラザ(PIO)であることもあって、大田九条の会は「まつり」の成功のために力を入れています。大田九条の会からの出店や、企画への参加はもちろんのことですが、来場者への便宜ができるだけ図るというサポート面でも力の限りを尽くすつもりです。

都内九条の会などが一堂に会してのイベントは初めての経験です。しかも会場はかなりの人数収容可能な大規模施設であり、終日貸切のイベントは「大冒険」です。実は、大田九条の会は、この時期に結成5周年記念の行事開催を考えていました。ですからこの「まつり」の企画を耳にし

た時の関係者の反応は「えっ！…（まいといったなあ）」という戸惑いでした。しかし、地元でこれだけ大きなイベント開催ですから、大田九条の会ならではの支えをしなくてはなりません。会場までの道案内・会場周辺の車両誘導・来場者向け弁当販売・ゴミの始末など、来場される方々が不便を感じないよう、大田ならではのサポートをしっかりと遂行する決意でいます。

大田九条の会は2005年の10月に、区内で活動をしていた九条の会を結び付けるネットワークとして結成されました。結成集会はJR蒲田駅近くの大田区民ホール・アリコで行われましたが、約1,400人の方々が参加され大きな成功を収めることができました。日

常の活動は他の地区の九条の会と同様だと思いますが、割合地味な街頭宣伝や学習です。ですが区内の多くの方に支えられて着実に運動を継続・発展させることができました。今年6月には結成5周年記念事業として、ペシャワールで活動している中村哲医師をお招きして講演会を開催しました。財政問題もあって開催に踏み切るには不安も小さくありませんでしたが、結成集会と同会場（大ホールの収容人数は約1,400人）が埋め尽くされただけではなく、事前に用意した第2会場もほぼ満席で、総勢1,600人以上の来場で、大成功で終わることができました。来場された方の中には、長野や高崎など遠方から来られた方も多く、また20代・30代の若い人たちも目立ちました。会場で呼びかけたペシャワール会へのカンパも80万円を超える、市民・区民の反戦・平和への熱い思いを重く受け止めさせてもらいました。こうした思いを強く持っておられる方々が、「東京・9条まつり」に参加し、あるいはたくさん来場してもらえるよう、そして思いっきり楽しんでいただけけるよう、開催まで残る期間精いっぱい宣伝・呼びかけを続けていきたいと思っています。

東京9条まつりプレ企画 「五日市憲法草案再発見ツアー」 温泉つきに30人

あきる野9条の会事務局長 前田眞敬

9月19日、JR武藏五日市駅前には案内人で地元研究者の鈴木富雄さんははじめマスコミ9条の会の仲築間さん、東京連絡会の島田さん、世田谷、葛飾、小平、地元の会など30人が集まり「五日市憲法草案再発見ツアー」がスタートしました。

一行は快晴の中を歩いて、まず「勸能学校跡」に向かいました。明治14年(1881)に五日市憲法草案(以下草案)を起草した千葉卓三郎は、嘉永5年(1852)宮城県白幡町

(志波姫町／現栗原市)に生まれ明治13年(1880)にこの学校に勤務します。次は市神様。五日市が市場町として発展するのを見守り続けた自然石の神様です。鈴木さんは、五日市は、炭、木材、黒八丈といわれる絹織物が盛んな町で、筏(いかだ)を組んで秋川から多摩川を経て東京へ運び、当時の先進文化と直結していたと話しました。五日市郷土館では展示物や写真を見ながら説明を受けました。坂道を登って若者が議論した学芸講談会の会場・開光院を見学。次は草案の記念碑です。鈴木さんは204条のうち碑に刻まれている6か条を読み上げながら解説し、86条は草案の白眉とも言われていて「国帝ノ起議ヲ改竄スルノ権ヲ有ス」と天皇の提案より議会の決議を優先とした国民主権の立場にたったものだと述べました。

昼食後一行は、会員の車に



分乗し、草案が発見された深澤家跡に向かいました。町から4キロ以上はなれた山中の屋敷跡には修復された門と土蔵があります。卓三郎とともに活躍した深澤権八は当時19歳、豪農深澤名生(なおまる)の長男で、この屋敷から勸能学校に通って1年で卒業した秀才でした。土蔵には膨大な書物と資料、他国の憲法が保管され、

その中から草案が発見されました。山を登った所に権八らの墓があります。墓碑は「権



八・深澤氏」と英語読みで書かれています。権八は県会議員(当時はこの地域は神奈川

県)にもなりますが29歳でこの世を去り、父名生も息子の後を追うように死去します。民権運動の最大の援助者の死は、自由民権運動への明治政府の弾圧とあいまって、草案が蔵の中で眠り続けることになつたと鈴木さんは言います。卓三郎は結核が進行し五日市から奈良橋村(現東大和市)の鎌田家に身を寄せますが、入院先の本郷・竜岡病院で31歳の生涯を終えるのです。

五日市憲法草案が眠りから覚めるのは87年後。自由民権運動の研究をしていた東京経済大学の色川大吉教授らに発見され、その存在と起草者・卓三郎が明らかにされたのです。自由民権運動の中で起草され、現憲法と地下水脈でつながっている五日市憲法草案はすばらしいと鈴木さんは熱

を込めて語りました。この後一行は当時の青春群像に思いをはせながら帰宅組みと温泉組みに別れて深沢の地を後にしました。ところで温泉ですが、連休とあって、瀬音の湯に向かう車は大渋滞。入浴希望の18人の中では入れたのは9人だけでした。お疲れ様でした。

みなさん。東京9条まつり、11時30分から6階C会議室でお会いしましょう。



小学生・山脇志貴さんが作った本 「日本国憲法第9条」

6月5日付本紙は、小学生の山脇志貴さんが作った「日本国憲法」という本の紹介をしました。大変好評であったこともあり、その旨、お母さんに連絡したところこのたび増刷されました。

購入ご希望の方は、九条の会東京連絡会にお申し込み下さい。

1部1000円、送料100円で頒布させていただきます。よろしくお願ひします。



核兵器廃絶署名行動 「100本ノック」 東京高校生平和ゼミナール 鈴木駿平

今年の5月にニューヨークで行われたNPT再検討会議の核兵器廃絶の署名の平和ゼミでの取り組みについて紹介します。

去年の7月から、核兵器廃絶の署名の一萬筆を目指し、平和ゼミの実行委員会の前に、人が多い渋谷や原宿に集まって署名集めを始めました。始めた時は、通行人に声を掛けても素通りして署名してくれる人があまりいなくて、心が折れそうになったときもありました。しかし、回を重ね、署名してくれた人に応援の声を聞く度にその分やる気もわいてきました。けれども、署名は月に一回のペースでやっていたので、本腰を入れた取り組みではありませんでした。

そこで、NPTまであと4ヶ月に迫ったとき、署名集めのやり方について話し合いました。話し合った結果、署名のためだけに集まる日を作つて100筆集まるまで帰らないという「100本ノック」というのを始めることになりました。最初にやつたときは3時間かかりましたが、慣れるにつれて1時間弱で終わるようになりました。去年の7月から今年の5月まで、駅の街頭での署名集めや友人や集会で集めたりして、6121筆の署名が集まりました。そして、5月のNPT再検討会議。平和ゼミからは高校生5人が代表としてニューヨークに行ってきました。国連本部の前で、みんなの思いが詰まった署名を提出

しました。

世界では、オバマ大統領のプラハ演説に始まり、核兵器廃絶の流れはこれまで以上に広がりつつあります。自分たちの活動は小さいものなのかもしれないけど、決して無駄なことではない。この署名の取り組みを通して、いちばん自己の中で得たものだと思います。

最後に、みなさまにご支援していただき、NPT再検討会議要請行動に5人、原水禁世界大会にも30人近くの高校生が参加することができました。カンパもふくめて高校生の活動に温かい援助をしてくれてありがとうございます。



学習会

「参院選後の憲法問題を考える」

9月13日午後6時から豊島区民センターにおいて開かれた第10回実行委員会の第I部で、高田健さん（九条の会事務局、許すな！憲法改悪・市民連絡会事務局）による標記の学習会が行われました。7月11日参院選の結果を踏まえ、また民主党代表選挙を翌日に控える中での学習会でしたが、要旨は次のとおりです。

■沖縄と若者

名護市長選に続いて名護市議選で辺野古移転反対派が大きく前進した。9月12日に東京で辺野古移転に反対か賛成かのシール投票を行ったところ、300人が投票。その多くは若者で、反対240人、賛成30人、分からぬ30人。また、「九条おじさん」の蓑輪喜作さんが1人で集めた「憲法九条を守って下さい」署名は実に3万5千。その半数以上が若者。こうして若者は沖縄や9条に関心をもっているが、私たちの運動はその若者を引き付けて来なかつた。これを克服すると壮大な運動となる。その可能性は大いにあるから本気に取り組んでいこう。

■連立政権下の憲法問題

明日、民主党代表が決まる。民主連立政権が誕生した力は、政治社会の中心問題となった貧困解消・生活第一に国民が期待したことにある。しかし、菅直人は新自由主義に回顧し、小沢一郎は「マニフェストを守れ」。沖縄問題でも、菅は日米合意尊重、小沢は海兵隊不要。こうし

て民主党内は対立しており、どちらが首相になるかで私たちのたたかいかたは異なってくる。しかしこの間、連立政権の下で貨物検査特別措置法成立、改憲手続法施行（5月18日）、内閣法制局長官の事実上答弁禁止などいくつかの憲法問題があつたが、これに対する市民運動は弱かつた。反省しなければならない。

■安保防衛懇報告

今、大変な問題が起きている。8月27日、菅首相の私的諮問機関「新たな時代の安全保障と防衛力懇談会」が「新たな時代における日本の安全保障と防衛力の将来構想—『平和創造国家』を目指して」と題する報告書を提出した。これは年末の「防衛大綱」改正の布石となるもの。柱は、武器輸出三原則・防衛予算GNP1%枠・非核三原則・集団的自衛権行使禁止という9条の下で国是とされてきた原則のすべてを「見直せ」と要求している。日本の防衛政策と方針を「受動的な平和国家」から、「日米同盟」の下で自衛隊=武力を駆使した「能動的な平和創造国家」に全面的に転換させようとする過激な内容となっている。また、自衛隊の機關紙「朝雲」の記事だが、幹部が酒を飲みながら「どうして自衛隊はクーデターを起こさないのか」の話をしている。政治の混迷期に必

ず出てくるような動きが今、「政権交代」を機に出てきており、十分な警戒が必要である。

■前衛

7月参院選で共産党と社民党は後退した。この10年間、両



党は右肩下がりを続けている。真剣に考えないといけない深刻な問題だ。そのためには、1人ひとりが「前衛」でなければならない。蓑輪喜作さんを見ているとそう思う。蓑輪さんは若者に切り込んでいる草の根の前衛だ。1人ひとりがこれをやり切れるかが問われている。また、どうやって共同行動=統一戦線を切り開くか。大変な仕事だが、これも前衛の仕事だ。しかし、これをやらないと10年間の右肩下がりは今後も続くと思う。

前衛とは「労働者階級の先頭に立って指導する集団・部隊」（大辞林）。9条と安保、9条と「日米同盟」が激突する今日、私たちは国民の先頭に立って草の根運動を推し進めなければならないことを決意させられた講演でした。高田さんが最後に伝えてくれた数字を紹介します。7月参院選で当選した民主党議員44名中27名が集団的自衛権行使反対、31名が9条改正反対。

（島田修一 記）

去る9月13日、18:00～20:20、豊島区民センターにて「東京9条まつり」の第10回実行委員会が開催されました。参加者は53人でした。事務局から準備状況について3本の報告があり、その都度、質疑応答をしました(→は質問に対する回答を意味します)。

1. 組織・財政について <事務局からの報告>

*チラシを全体で20万枚配布します。具体的には、地域の九条の会5万枚、分野別九条の会1万枚、会場近隣区の九条の会4万枚、賛同団体(買い取り)10万枚をお願いします。また郵送の際に200枚以上については着払いでお願いします。

*「成功協力券」をニュース「生きいき憲法」を送っている方に5枚ずつ郵送して普及の協力をお願いしています。また行政単位の九条の会に協力要請の訴えに伺います。会場近隣区には賛同団体も含め特に協力をお願いします。

「成功協力券」は大人は入場の際にチェックしますが、高校生以下についてはチェックしません。

*さらに労働組合・民主団体・市民団体・宗教団体などを中心に、この「まつり」への協力・賛同をお願いする団体をリストアップして要請にまわっています。

<質疑応答>

*「成功協力券」を送ってもらつたけれど、私は配るあてがありません。どうしたらいでしようか? →「成功協力券」の取扱いは強制ではありません。取扱いできない方は返却あるいは放置して頂いて結構です。

*チラシの買い取りの価格はいくらですか? →チラシは1枚5円でお願いしています。ポスターは1枚100円です。

「東京9条まつり」 第10回実行委員会の記録

*土建にチラシ3万枚お願いすることになっているが、私の地元にも土建の支部があるが、まだ降りて来ていない。どういうことか? →チラシは明日発送するので、これから配られていくと思います。

*チラシや成功協力券の取り組みの様子が書かれている表が配られているが、全ての行政区が網羅されていない。この範囲でしか取り組まないのでしょうか? →これはこれまで注文があった所しか載せていません。これをもっと広げるつもりでいます。

2. 当日の運営について <事務局からの報告>

*あと2カ月で本番です。参加されたみなさんに安全かつ快適に楽しんでいただくために、当日はのべ100人ぐらいのボランティアが必要になります。主な仕事は、前日・当日の設営と撤収、企画の運営サポート、会場までの案内係などです。「要員ボランティア登録用紙」を配布しますので、ぜひボランティア登録をお願いします。

<質疑応答>

*出演者も成功協力券を買う必要がありますか? →自主企画の出演者にはぜひお願いしてください。

*前日の設営は何時から何時までですか? また当日の撤収は何時の予定ですか? →12日の設営は14:00～17:00の予定です。13日の撤収は大展示ホールについては17:00から開始します。

*ボランティアの登録はいつまで受け付けますか? →締切りは設けませんが、計画を立てるために1カ月前(10/13)をめどにそれまでにお願

いします。

*丸一日はむづかしいという人もいると思うが? →「登録用紙」に何時から何時までということを明記してもらえばそれで対応します。

*道案内と弁当売りは大田区で引き受けるつもりでいるので、要員ボランティアの仕事からはずしてもらって結構です。→ありがとうございます。了解しました。

*展示を出す予定だが、ガムテープの使用は不可となっているが、最近は壁が汚れない粘着グッズが開発されている。それでも駄目なのか交渉してもらいたい。→会場側と交渉してみます。

*自主企画を予定しているものとして、再度現地視察をしたいが計画してもらえないか? →わかりました。検討します。

*駐車場はありますか? →ありますが、台数に制限があります。どのように使うかはまだ検討中です。

3. 大展示ホールについて <事務局からの報告>

*大展示ホールについての配置のイメージ図ができましたので配布します。

*ブース出店は3000円かかります。事前に納入してください。水道・電気を使用するブースはさらに小額の実費の追加があります。これは事後に請求します。

*9/16に大久保の東京土建会館(新宿区北新宿1丁目8-16)でブース出展者会議を開きます。ぜひご出席下さい。ブース出展者会議は今後3回ぐらい開く予定です。